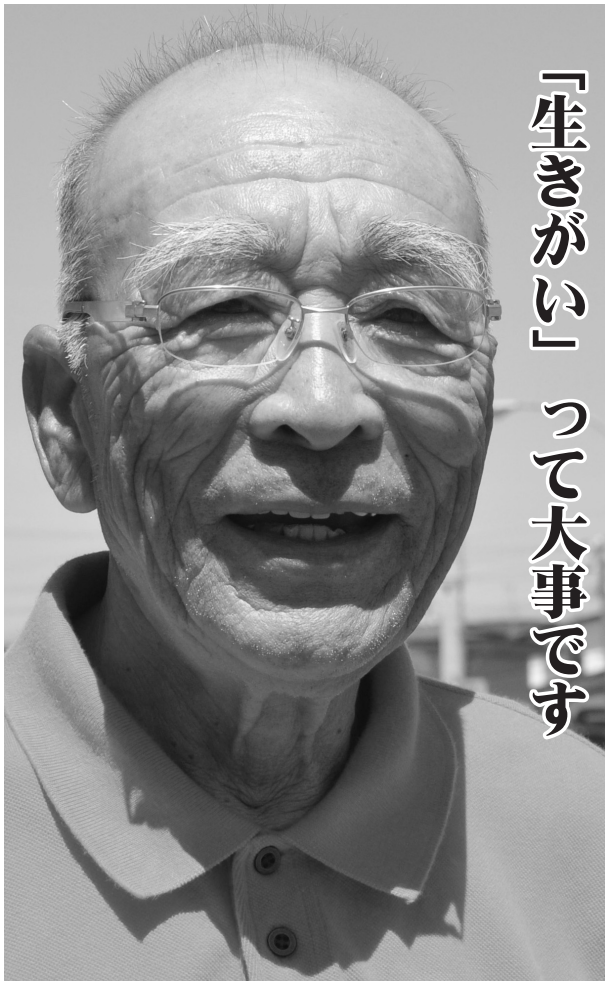


輝くねむろ

We Love Nemuro!



「生きがい」って大事です

「ゲートボールを愛し続けて28年。これこそが元気の源です。」と話すのは、根室市ゲートボール連絡協議会会長を12年間務めながら、プレーヤーとしても幅広い活躍を見せている走出静夫さんです。北海道芽室町が発祥のゲートボールは、5人1チームで得点を競うスポーツです。さまざまな戦略を駆使しながら戦うのがだいご味で、高齢者だけでなく、幅広い年代の方が楽しむことができます。

「ゲートボールにひかれ続けているのは、仲間との交流が何よりも楽しいから。」走出さんは、ゲートボールの魅力をどんどん広げて、仲間を増やしたいと話します。平成20年に根室管内で2人目となるゲートボール指導員の資格を取得し、熱心に指導する傍ら、自らも夢中でプレーを楽しんでいます。そんな姿に、「おじいちゃん！僕たちにもやらせてよ」と、子どもたちが続々と集まってきました。「ゲートボールは世代を越えたふれあい生まれます。この楽しさを味わうのが僕の生きがいですね」と、走出さんの汗と笑顔が輝きます。走出さんのゲートボールへのひたむきさが、元気に生きる秘訣を教えてくださいました。



真剣なまなざしでゲートを狙う走出さん

profile 是りてしずお 走出静夫さん

根室市ゲートボール連絡協議会会長

1937年羅臼町生まれ（73歳）。日本ゲートボール連合杯兼北海道地域ゲートボール選手権大会や全道・道東大会などに積極的に出場。平成20年にゲートボール指導員の資格を取得。スポーツ全般が大好きで、根室市高齢者大運動会や陸上、卓球の試合の応援を楽しむ。



今、社会状況の変化に呼応し、図書館もいろいろな形で多様化しています。しかし、時を経ても変わってはならないのは、だれもが気軽に訪れることができ、ゆっくりとくつろげる文化的癒し空間（場所）であること。そして、心の通った図書館であることです。私たちは、いつもそんな図書館を目指しています。

ほかの町の図書館や公共施設を訪れるとき、その周りの景観が美しいと、館内への期待も大きく膨らみます。市図書館の前庭も、色とりどりの花が皆さんをお迎えしていることにお気付きでしょうか。毎年、図書館友の会の方々が心を込めて植えてくれているかわいい花々です。このところ、生活環境として注目されている「里山」の機能と美しさは、人が手を入れることによって保たれています。図書館もこれによく似ていて、外周りとともに館内においては、新しい本を開架フロアの最前線に置き、古くなって利用が少なくなつた本は保管場所を変更し、少しでも有効な本棚の構成を心掛けます。図書館の分類に従って、各ジャンルの本を利用しやすいように、使いやすさや分かりやすさを常に追求しています。

まちのオアシスを目指して

図書館からの おくりもの

司書補 中村英博
図書館 TEL (23) 5974番



利用者を和ませる図書館前の花々